

表 6 北の湖, 若乃花間の勝敗を条件としての 2 人の優勝の確率

	北の湖が若乃花に	
	勝ったとき	敗れたとき
同じ勝数	0.1684	0.2536
北の湖優勝	0.7474	0.2219
若乃花優勝	0.0842	0.5245

る。輪島は優勝戦線にどの程度の影響を及ぼすだろうか。そのために、表 6 を作るために使った数値から北の湖, 若乃花の勝数の最大値の分布を求めた。これと輪島の勝数の分布の近似値が表 7 に示されている。粗い近似として、この 2 つの分布を独立とみなしたうえで、輪島がこの最大値と同等以上の勝数をあげる確率を求めると 0.086 という結果になる。輪島の優勝の確率はきわめて限られたものと考えられる。

## む す び

以上の例は、可能な分析について、いくつかの例を示したものにすぎない。BT モデルを仮定して計算を進めれば、たとえば現在の北の湖と全盛期の大鵬とどちらが強かったかというような間に

表 7 北の湖, 若乃花の勝数の最大値の分布と輪島の勝数の分布

	北の湖, 若乃花の最大値	輪 島
全 勝	0.295	0.006
14 勝	0.469	0.049
13 勝	0.201	0.156
12勝以下	0.035	0.789

答えることも可能である。それについては「強さ」の時間的変化について一定のパターンを仮定しなければならず、そこには問題があるが、また BT モデルからのズレの構造を分析して、力士の「強さ」だけでなく、その「タイプ」を分類し推定することも可能であるが、それについてはここでは立ち入ることができなかった。

この一文をきっかけとして、興味をもたれた読者の方々が、自らいろいろな分析を進めてくださることを期待したい。

東京大学工学部大学院の西尾敦氏には多くの有益なコメントをいただいたうえ、データ処理の援助をあおいだ。深く感謝したい。

(たけうち・けい ふじの・よりたけ)



## ●日本のリソースマネジメント

第25回部会 53年12月2日(土) 14:00~19:00. 日本能率協会研修室で開催, 参会者22名. 議題「日本の合理主義を考える」東大教授公文俊平氏.

日本的合理主義は日本におけるリソースマネジメントを考える上で、最も基本になるものであり、今までの場合においても断片的にはしばしば論議されてきたが、本研究部会のしめくりとして思い切ってメスを入れたものであった。本問題については、不可解な部分も相当あり、また現在の若年層の価値観の変化が、在来の合理主義にどのような変革をもたらすかは、今後の課題にもち越されたが、少なくとも今までの現象面に対する本質性が浮きぼりにされ、リソースマネジメントを考えるうえでの大きな示唆が得られた。